

製品名: リン酸化 SIRT1 (T530) (4C14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06007**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	82kDa

抗原情報

遺伝子名	SIRT1
別名	NAD-dependent protein deacetylase sirtuin-1; hSIRT1; Regulatory protein SIR2 homolog 1; SIR2-like protein 1; hSIR2; SirtT1 75 kDa fragment; 75SirT1; SIRT1; SIR2L1;
遺伝子 ID	23411.0
SwissProt ID	Q96EB6
免疫原	ヒト SIRT1 の Thr530 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

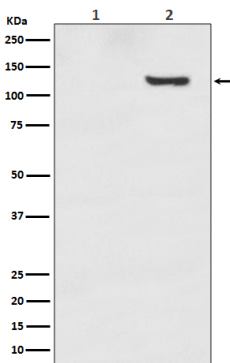
背景

サイレント情報制御因子 (SIR2) ファミリー遺伝子は、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (NAD) 依存性タンパク質脱アセチル化酵素 (クラス III ヒストン脱アセチル化酵素とも呼ばれる) をコードする高度に保存された遺伝子群です。SirT1 脱アセチル化酵素の活性はニコチンアミドによって阻害され、レスベラトロールによって活性化されます。NAD 依存性タンパク質脱アセチル化酵素は、転写制御を細胞内エネルギー論に直接結び付け、細胞周期、DNA 損傷への応答、代謝、アポトーシス、オートファジーといった複数の独立した細胞機能の調整に関与しています。神経発生移行期には、BCL6 依存的にヒストン脱アセチル化を介して NOTCH1 標的遺伝子を選択的に抑制し、神経分化を誘導します。

研究分野

細胞生物学

画像データ



(1) 293T 細胞溶解物、(2) カリキュリン A 処理した 293T 細胞における Phospho-SIRT1 (T530)発現のウェスタンブロット解析。